

ザルツブルク音楽祭を飾る名門オーケストラ、フランスの歌姫S.ピオーを伴って注目の来日!

# ザルツブルク・ モーツァルテウム管弦楽団

Mozarteum Orchester Salzburg

指揮: アイヴォー・ボルトン Cond.: Ivor Bolton

ソプラノ: サンドリーヌ・ピオー Soprano: Sandrine Piau

ハイドン 交響曲 第85番 変ロ長調 Hob.I:85 「王妃」  
Haydn Symphony No.85 in B-flat major, Hob.I:85 "La reine"

モーツァルト 「フィガロの結婚」より スザンナのアリア “とうとう嬉しい時が来た”  
Mozart "Le Nozze di Figaro" Susanna Aria, "Giunse alfin il momento"

「ルーチョ・シッラ」より ジュニアのレシタティーヴォとアリア  
“ああ、私の命よ、どこへ” “死のこの上ない不吉な思いのうちに”  
"Lucio Silla" Giuria Recitativo and Aria, "Sposo...mia vita" "Frai pensier piu funes"

「偽りの女庭師」より サンドリーナのカヴァティーナ “雉鳩は鳴く”  
"La Finta Giardiniera" Sandrina Cavatina, "Geme la tortorella"

「ドン・ジョヴァンニ」より ドンナ・アンナのレシタティーヴォとアリア  
“残酷な男たちよ 立ち去りなさい” “おっしゃらないで、いたい人”  
"Don Giovanni" Donna Anna Recitativo and Aria "Crucele" "Non mi dir"

モーツァルト 交響曲 第36番 八長調 K.425 「リンツ」  
Mozart Symphony No.36 in C major, K.425 "Linzer"

2015年5月26日 [火] 19時開演 (18時20分開場)

東京文化会館大ホール

Tuesday, 26 May, 2015, at 19:00 Tokyo Bunka Kaikan Hall

全指席 ¥10,000 A ¥8,000 B ¥6,000 C ¥4,000 学生席 ¥3,000 (学生席は日本アーティストのみ取扱い)

お問合せ・電話予約

日本アーティストチケットセンター 03-3339-3339

<http://www.nipponartists.jp>

カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560

<http://www.camerata.co.jp>

チケットお取扱い

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp> [Pコード: 251-921]

イープラス <http://eplus.jp>

ローソンチケット 0570-000-407 <http://l-tike.com/> [Lコード: 36675]

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催: カメラータ・トウキョウ/日本アーティスト

協力: 日本モーツァルト協会

協賛: (株)キングインターナショナル

©Sibylle Zettler



# ファン待望のピオーのモーツァルト公演が実現!

「鈴をころがすような声」と、故 吉田秀和氏が絶賛したピオーのモーツァルト。ボルトン指揮モーツァルト管弦楽団の好サポートを得たCDは、「心の琴線をふるわす歌声」と世界中で大好評。

## ザルツブルク・モーツァルト管弦楽団

Mozarteum Orchester Salzburg

1841年モーツァルトの寡婦コンスタンツェの援助のもと、ザルツブルクの地元住民によって「ザルツブルク大聖堂音楽協会及びモーツァルト音楽院(モーツァルトウム)」として創設される。その後1908年、楽団名は現在の名称である「モーツァルトウム管弦楽団」と改名され、1958年以降はザルツブルク市より経済援助を受け活動を行っている。

歴代指揮者にはパウムガルトナー(在1917-38)をはじめ、メルツェンドルファー、ハーガー、グラーフ等の名称が名を連ね、ザルツブルク市出身のカラヤンとも密接な関係にあった。

現在の首席指揮者はアイヴォー・ボルトン(2004年就任)。

モーツァルトウム管は、ザルツブルク音楽祭祝祭大劇場とモーツァルトウム音楽院の大ホールで定期公演を行っている他、海外公演、著名国際音楽祭出演、CD録音を精力的に行っている。また、毎年行われるザルツブルク音楽祭のレギュラー・メンバーとしてモーツァルト・マチネーを行い、1月のモーツァルト週間にも出演している。さらにオペラ、オペレッタ、ミュージカル、バレエ公演もこなし、国際モーツァルト財団主催のコンサートでは現代作品の演奏を行っている。



## アイヴォー・ボルトン(指揮)

Ivor Bolton, Conductor

現在ヨーロッパで大きな注目を集めるボルトンは主にバロック作品およびモーツァルト、ハイドン等、古典派作品の分野において極めて高い評価を獲得している。

オペラ指揮者として、バイエルン国立歌劇場とは1994年より親密な関係が続いており数々のプロダクションを指揮、その貢献に対し、バイエルン劇場賞を受賞。また、2005年には同歌劇場の指揮者として初来日を果たしている。客演指揮者としてバリ国立オペラ、英国ロイヤルオペラを始め、ボローニャ、ブリュッセル、アムステルダム、シドニー、ベルリン、ジュネーヴ等、数々の歌劇場より招かれており、オーケストラ指揮者としてもニューヨーク・リンカーンセンター、チューリッヒ・トーンハレ管、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロッテルダム・フィル、ウィーン響、フライブルク・バロック・オーケストラ等を含むヨーロッパの主要オーケストラより招かれ客演している。またザルツブルク音楽祭には毎年出演。

2004年よりザルツブルク・モーツァルト管弦楽団の首席指揮者を務めている。



## サンドリーヌ・ピオー(ソプラノ)

Sandrine Piau, Soprano

バリ音楽院において声楽を学ぶ。

ウィリアム・クリスティとエクス・アン・プロヴァンス音楽祭において共演するなど、バロック・オペラのレパートリーでとりわけ名高く、ヨーロッパにおける古楽復興の立役者たち、たとえばマルク・ミンコフスキやフィリップ・ヘレヴェッヘ、フランス・プリュッヘン、ポール・マクレー・シュ、アラン・カーティス、トン・コープマン、クリストフルセ、ルネ・ヤコブス、ファビオ・ピオンディ、ニコラス・アーノンクールらと共演を重ねる。

近年のオペラ出演は、クレオパトラ(パリ・ナショナル・オペラ)、メリザンド(ニース)、パミーナ、ドンナ・アンナ(いずれもシャンゼリゼ劇場)、「ポッペアの戴冠」のタイトルロール(ケルン)の他、ジュネーヴ、トゥールーズ、シャトレ座、さらに新作オペラに出演と活躍している。

コンサートでも、ザルツブルク音楽祭をはじめ、主要な音楽祭、コンサートホールに定期的に登場、ベルリン・フィル、ミュンヘン・フィル、パリ管、ボストン響等と共演を重ねている。

CDもこれまでナイーブ・レーヴェルより、ヴィヴァルディ、ヘンデル、モーツァルト、ドビュッシーの他、ピアノ伴奏によるショーソンやツェムリンスキー、シェーンベルクをふくめたアルバムをリリース、いずれも絶賛、高い評価を得ている。

2006年にはフランス政府より芸術文化勲章を受勲、2009年にはクラシック音楽の受賞式典で「リカル・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」に選ばれた。



## 鈴をころがすような声、サンドリーヌ・ピオーのCD

naïve

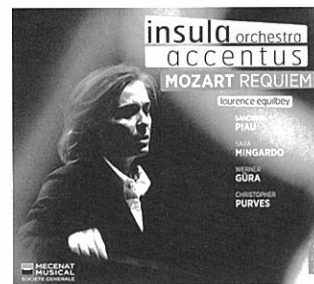


### モーツァルト：オペラ・アリア集

～ DESPERATE HEROINES (うちひしがれたヒロインたち)

- 1 『フィガロの結婚』第4幕より「なくしてしまった、どうしよう」(バルバリーナのアリア)
- 2 『ドン・ジョヴァンニ』第2幕より「酷いですって～そんな事はおっしゃらないで下さい」(ドンナ・アンナのアリア)
- 3 『偽りの女教師』第1幕より「ああ小鳩は嘆く」(サンドリーヌのアリア)
- 4 『ポントの王ミドリターテ』第3幕より ah ben ne fui presaga... pallid'ombre (アスパーシアのアリア)
- 5 『フィガロの結婚』第4幕より「とうとうその時が来たわ～さあ、早く来て、喜びのとき」(スザンナのアリア)
- 6 『偽りの女教師』第2幕より「crudeli, oh dio! Fermate」(サンドリーヌのアリア)
- 7 『イドメネオ』第2幕より「たとえ父を失い」(イーリアのアリア)
- 8 『ルーチョ・シッラ』第3幕より「sposo, mia vita... frá i pensieri」(ジュニアのアリア)
- 9 『牧人の王』第2幕より「l'amerò」(アミンタのアリア)

サンドリーヌ・ピオー(ソプラノ)  
アイヴォー・ボルトン(指揮)、ザルツブルク・モーツァルト管弦楽団  
録音:2013年11月、スティッフング・モーツァルトウム(ザルツブルク)



### モーツァルト： レクイエム KV 626 (ジュスマイヤー版)

サンドリーヌ・ピオー(ソプラノ)  
サラ・ミンガルド(アルト)  
ヴェルナー・ギューラ(テノール)  
クリストファー・ビュルグ(バス)  
ロランス・エキルベイ(指揮)  
アクサンチュス  
インストラ・オーケストラ  
録音:2014年2月、ヴェルサイユ  
宮殿内王室礼拝堂(フランス)

●KCC 5405/ 日本語解説・訳付き / 2,857 円+税

ほか、絶賛発売中